

になつて居ります。

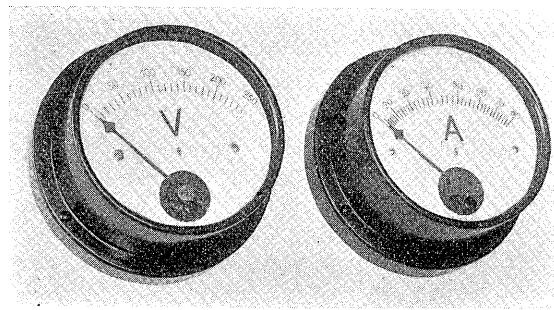
第四圖は本記録計による記録曲線の例でありまして、此は第一圖の場合と同じ負荷に就き第一圖の場合のエレクトロダイナミック型記録計と並列

に接続して記録せしめたものであります。第一圖の記録曲線に比し、其の明瞭度に就いて著しい相違のある所を御覽願ひ度いと存じます。

(弱電係 上田朔夫)

富士新型配電盤用計器

Fusi New Type Switch Board Meters



- 1) 交流電流計並電壓計 **FAN**型(可動鐵片型)
- 2) 直流電流計並電壓計 **FDN**型(可動線輪型)

主働作機構はシーメンス、ハルスケ社の最新設計に準據して、更に改良を施し我國のブラックチスを加味して最近弊社工場で完製した新型で日本電氣工藝委員會標準仕様書に規定せる普通級に適合するものであります。計器指示確度の耐久性は廻轉力に對する可動部分の重量の比に依つて左右される事が知られておりますので此點を特に考慮して、從來のものよりも可動部分の重量は非常に軽く、廻轉力はなるべく大きくしてあります。軸端、寶石軸承、可動部分等は細心の注意と技術を以て摩擦抵抗を極度に減じ、目盛板は溫度の變化に依つて、彎曲、變形せざる様考案せられ、精確

な制御發條其他各部の構造簡單堅牢で平衡のよくとれた信頼の出来る計器であります。

FAN 型計器は高級な絶縁物製のボツビンに圓型に捲いたコイルと、特殊の材料でつくられたボールピース及アーマチュアは夫々最も有効な形と位置とに配置せられ、獨特の空氣制動裝置と共に丈夫なフレームに取付けられてゐます。目盛は最大の1以上は大體均等な目盛であります。電壓計では常用電壓の目盛附近を少し廣くしてあります。計器の内部消費電力は比較的小さく0.7乃至1ワットであります。電壓計の如く自藏直列抵抗のあるものは是よりも3乃至7ワットを増加致します。5アムペア電流計の例をとりますと、イムピーダンスは50 $\sim$ 、5Aで0.08 Ω で

2 V.A.。150V 電壓計では110V.50〜で2.6V A. でコイルの抵抗に比して割合に大きい直列抵抗が入つてゐますので温度の影響をうける事が少なくなつてゐます。使用周波数の範囲は15乃至100 サイクルであります。電流計は300 A 迄は直接接続とし電圧計は500 V 迄は附屬抵抗を要せず其以上の電流、電壓に對しては變成器を要します。この計器は特に丈夫であること、過熱過大負荷に對して鈍感であること、可動部分が輕くて摩擦や破損が少く運搬中軸承や軸端を痛める事がないこと、可動部分の重量の割合に廻轉力が大きく従つて比較的強い制御發條を使用してあることや制動裝置が完全であるので震動衝擊に對して指針の動搖が少いことなどが特徴であります。

FDN 可動線輪型計器は精撰された永久磁石、輕くて摩擦のな内可動部分等指示の精確な直流計器で電流計は200 A 迄は自藏シャント付其以上はシャントを外附致します。何れも60MVのシャントであります。電流計の可動線輪にはシャントと同質の材料の直列抵抗を入れて温度の影響を少くしてあります。消費電力は2.002 ワット。電圧計は目盛1V に對して50〜100 Ω の直列抵抗を有し最大目盛に於ける電流は20-10 シリアムペアであります。直流電圧計は最高2000 V 迄製作出來ます。

FAN 及び**FDN**何れもベースの直徑185耗、目盛面の直徑143耗、高さ90耗。埋込式配電盤に取付ける時は優美なフロントリングを使用致します。



＊本誌に記載されている会社名および製品名は，それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。